

レファレンス記録 2024年3月

館	相談内容	回答・提供資料他
陵南	「太極拳 剣（つるぎ）の四十二式」についての本はあるか？	【太極拳 剣】 【剣 四十二式】で検索してもそれらしき本はなく、【太極拳 四十二式】でかろうじて30年前の未所蔵の本が1冊ヒットしました。 二十四式、四十八式、八十八式の本はあったので見ていただきましたが、これではないとのこと。 後ほどインターネットで検索したところ、「四十二式太極拳」と「四十二式太極剣」という流派が存在することが判明し、おそらく後者のことを言っておられたのだと推測されます。【太極剣】で検索すると未所蔵ではありますが、下記の2冊が出版されていることが分かりました。 『42式太極剣入門』李 徳芳・呉 増楽／著 BABジャパン出版局（2002） 『呑みこみやすさにこだわった太極剣四十二式』李 自力／著 愛隆堂（2010）
陵南	3/13にテレビ番組でやっていた、1963～64年頃に起きた事件のことが知りたい	1963年に起きた連続強盗殺人事件のことで、陵南所蔵の 『日本凶悪犯罪大全』犯罪事件研究倶楽部／著 イースト・プレス（2010） 『図説現代殺人事件史』福田 洋／著 河出書房新社（1999） 『復讐するは我にあり 上・下』佐木 隆三／著 講談社（1978）に記載あり。
陵南	大阪の安福寺について知りたい。	『大阪府の歴史散歩 下』大阪府の歴史散歩編集委員会／編 山川出版社（2007）に記載がありました。
陵南	大八車の写真またはイラスト、油絵などで描かれているものがあれば見たい。	昔の生活の写真、イラストの載っているような本の内容を直接見て調べました。各1～2ページ程しか載っていませんが、下記の4冊を借りていただきました。 『日本を動かした50の乗り物』若林 宣／著 原書房（2018） 『昔のお仕事大図鑑』清水 和子／監修 日本図書センター（2020） 『昔のくらしの道具事典』小林 克／監修 岩崎書店（2004） 『昔の道具うつりかわり事典』三浦 基弘／監修 小峰書店（2015）

レファレンス記録 2024年3月

館	相談内容	回答・提供資料他
陵南	モールでクマなどの動物を作りたい。 作り方が載っている本が見たい。	モールの工作の本を見てもらい、以下3冊を貸出しました。 『ちいさなモール遊び』雄鶏社（2008） 『モールで作る小さなどうぶつ』国本 雅之／著 河出書房新社（2012） 『モールの動物たち』国本 雅之／著 日本ヴォーグ社（2016）
東部	羽曳野の無花果の歴史・大阪の無花果の歴史について載っている本	自館資料は以下のとおりです。 『羽曳野市史 第2巻』羽曳野市史編纂委員会／編 羽曳野市（1998） 『羽曳野・藤井寺の歴史遺産を訪ねて 令和3年』茨木 富美夫／著・発行（2021） 『育てて楽しむイチジク 栽培・利用加工』細見 彰洋／著 創森社（2017） 他に、市内各館に依頼して下記の資料を集めました。 『普及活動のあゆみ 平成18年度』 大阪南河内農と緑の総合事務所・農の普及課／編 大阪府（2007） 『なにわ野菜』上野 修三／著 クリエテ関西（2007） 『大阪農業のあゆみ』大阪府農業会議／編 大阪府農業会議（1985） 『羽曳野市の農業 昭和58年』『同・平成5年』 大阪統計情報事務所富田林出張所／編 羽曳野市（1983・1993） 『イチジクの歴史』デイヴィッド・C.サットン／著 原書房（2022） 『なにわ大阪食べものがたり』上野 修三／著 創元社（2007） 『果樹園芸大百科 13』農文協／編 農山漁村文化協会（2000） 『イチジク』株本 暉久／編著 農山漁村文化協会（1996） 『図表でみる南河内の青果物生産』 近畿農政局大阪統計情報事務所／編 大阪農林統計協会（1999） 『大阪食文化大全』笹井 良隆／編著 西日本出版社（2010）
丹比	高菜の漬物のレシピが載っている本がみたい	『つけもの漬けよっ。』杵島 直美／著 主婦と生活社（2005） に記載があったので貸出しました。

レファレンス記録 2024年3月

館	相談内容	回答・提供資料他
羽丘	世界遺産の検定を受けたいので、参考になる本はないか(小学生レベルを希望)	自館では見当たらず。 『小学生にもとれる!資格・検定カタログ』鈴木 秀明／監修 小学館 (2019) 『10代のための資格・検定』大泉書店編集部／編 大泉書店 (2020) 『世界遺産の歩き方』地球の歩き方編集室／編 地球の歩き方 (2022) 『キッズペディア世界遺産』小学館 (2021) を取り寄せ紹介しました。
羽丘	保育士になるための参考になる本	『保育士をめざす人の本 14年版』汐見 稔幸／監修 成美堂出版 (2014)
羽丘	入院中の父のために、文庫サイズぐらいの軽さの本で孟浩然の詩について記載されている本を探している	『唐詩選 上・中・下 (岩波文庫)』前野 直彬／注釈 岩波書店 (1986)
羽丘	CD『Topaz Sunset』オムニバス 千趣会 (1991) に②と書かれていたが、羽丘にこのシリーズの他のCDがあるかどうか知りたい	このシリーズの他のCDは所蔵なし。千趣会が出している別のシリーズは他館にあったので案内しました。
羽丘	ポケモンが載っている本 (お孫さん用) ※同日の午前、午後に同じ問い合わせあり	『ポケットモンスターえいが超ひゃっか』以下全て小学館 (1998) 『ポケモンをさがせ!』2種類 『ポケットモンスターだいつかん』 (1997) 『ポケットモンスターガラル図鑑』 (2020)

館	相談内容	回答・提供資料他
中央	河内源氏（多田源氏）について詳しく書いてある資料を探している。特に多田行綱・多田綱秋について記載のある資料が見たい。多田氏の家紋もわかれば知りたい。	質問者によると、多田行綱の弟が綱秋であるとのこと。 以下の資料を確認しました。 『日本家系・系図大事典』奥富 敬之／著 東京堂出版（2008） 『新編姓氏家系辞書』太田 亮／著 秋田書店（1994） 『清和源氏の全家系』奥富 敬之／著 新人物往来社（1988） 『河内源氏 頼朝を生んだ武士本流』元木 泰雄／著 中央公論新社（2011） 『羽曳野史 第1号 羽曳野市史編纂紀要』羽曳野市史編纂室（1976） 『羽曳野市史 第1巻 本文編1』羽曳野市史編纂委員会／編 羽曳野市（1997） 『羽曳野市史 第4巻 史料編2』羽曳野市史編纂委員会／編 羽曳野市（1981） 『竹内街道』上方史蹟散策の会／編 向陽書房（1988） 『日本名字家系大事典』森岡 浩／編 東京堂出版（2002） 『日本史諸家系図人名辞典』小和田 哲男／監修 講談社（2003） 『都道府県別姓氏家紋大事典 西日本編』千鹿野 茂／著 柏書房（2004） 行綱については上記の人名事典などに記載があるものの、綱秋については見つからず、家系図の兄弟欄にも記載なし。 インターネットで「多田綱秋」をキーワードに検索すると、『熊谷家伝記』という資料に綱秋が出てくるとの情報があり、国立国会図書館デジタルコレクションを確認したところ閲覧可能だったため、館内で見ていただきました。 多田家の家紋については、『都道府県別姓氏家紋大事典 西日本編』の大阪の項目に記載されており、由来も清和源氏との記載があったので紹介しました。
中央	自宅キッチンの蛇口が水漏れし始めたので、修理するのに参考になる本	①『なんでも自分で修理する本』片桐 雅量／著 宝島社（2020） ②『自分で直せば断然お得！身のまわりの修理の教科書』西沢 正和／監修 PHP研究所（2018）を紹介して、592の棚にある他の本も見ていただきました。①を借りていただきました。

レファレンス記録 2024年3月

館	相談内容	回答・提供資料他
中央	口内炎のことが書いてある本が見たい	「口内炎」のキーワードでは見つからず。 『ドラッグストアで買えるあなたに合った薬の選び方を頼れる薬剤師が教えます』 児島 悠史／著 羊土社（2022）という本に記載がありそうだったので、現物を確認。薬と口内炎の症状などの説明が載っていたので案内しました。
中央	ヨガ哲学について書かれている本が見たい	下記の498.3のヨガの本と、168のバガヴァッド・ギーターの本を紹介。 『ヨーガの極意』小山 一夫／著 BABジャパン出版局（2007） 『ハタヨガの真髄』B・K・S・アイアンガー／著 白揚社（1991） 『世界の名著 1』中央公論社（1985） 『バガヴァッド・ギーターの世界』上村 勝彦／著 筑摩書房（2007） 『超入門バガヴァッド・ギーター』大塚 和彦／著 ガイアブックス（2023） 最後の本を借りていきました。
中央	パソコン用語事典のような本を探している	すでに『最新・パソコン用語事典』という本をお持ちだったので、同じように用語の載っている本を探しました。Windows10から11への移行のしかたがわからないともおっしゃっていたので、そちらも探して提供しました。 『Windows10→Windows11乗り換え徹底活用100%入門ガイド』 リンクアップ／著 技術評論社（2021） 『パソコンで困ったときに開く本 2024』朝日新聞出版（2023）
中央	朝日新聞2017年3月17日夕刊に載っていた、大学の先生の記事が見たい	該当の記事は地方版に載っていたとのこと。 当館には当時の朝日新聞は縮刷版しかないので、地方版も載っている原紙を保存している図書館を探しました。 近隣では河内長野市・松原市が保存しているとのことで、松原市民図書館に現物の所在を確認し、利用者に直接来館するよう案内しました。

レファレンス記録 2024年3月

館	相談内容	回答・提供資料他
中央	「アッツザクラ」という花について知りたい。写真があるとなお良い。写真を見て、俳句の季語に使えるかどうか考えたい。	『花卉園芸の事典』阿部 定夫／（他）編 朝倉書店（1986） 『新編花卉園芸ハンドブック』鶴島 久男／著 養賢堂（1988） など、花の図鑑や事典を数冊調べたところ、アッツザクラについて記述が見つかり、別名は「ロードヒポキシス」ということがわかったが写真はなし。 書庫にあった『園芸植物（山溪カラー名鑑）』山と溪谷社（1998）に写真あり。こちらをカラーコピーされました。
中央	「バルーンフラワー」の作り方の本はあるか	最初はバルーンで花を作る本かと思い、バルーンアートの本を何冊か見てもらいました。さらに話を聞くと、花とバルーンを一緒に飾り付けるフラワーアレンジメントの本をお探しでした。 該当する本は所蔵がなかったので、フラワーアレンジの本とラッピングの本を紹介し、そのうち何冊か借りられました。
中央	太平洋戦争、フィリピン諸島ルソン島にて戦没した〇〇陸軍兵長（羽曳野市出身）に関する資料はないか	該当資料なし
中央	『河内名所図会』に二子山（二上山）の絵が載っているが、書かれている文字が判読できない。解説や現代文の載っている本はないか。	『河内名所図会』秋里 籬島／著 柳原出版（1990）他は原文のみ。 『「河内名所図会」「和泉名所図会」のおもしろさ』森田 恭二／編著 大阪：和泉書院（2010）に、元の絵とそれに対応した文字、解説文の記載があり、こちらをコピーされました。

館	相談内容	回答・提供資料他
中央	二上山で1974年（昭和49年）に山火事があり、その後山に植えられている木などが変わったと思う。火事の前に大阪側から撮った写真が見たい。（奈良側からの写真はすでに見た）	キーワード「二上山」で検索したものと、郷土資料コーナーなどの関係のありそうな資料を調査しましたが、下記の資料からは1974年以前の写真は見つからず。 『歴史の散歩道』羽曳野市教育委員会／編 羽曳野市教育委員会（1979） 『金剛山地（地球の風27）』日地出版（1999） 『天の二上と太子の水辺』上島 秀友／著 学生社（2011） 『河内の古道竹内への道』尾田 年弘／著 「河内狭山」発行所（1999） 『日本遺産難波から飛鳥への古道』椿本 九美夫／著 東方出版（2019） 『二上山西麓青少年の森』羽曳野市教育委員会／編 羽曳野市教育委員会（1989） 『二上山 新装版』田中 日佐夫／著 学生社（1999） 『郷土近つ飛鳥 第11号』 機関誌「近つ飛鳥」編集委員会／編 羽曳野郷土研究会（1989） 『羽曳野市史 別巻 羽曳野の古絵図と歴史地理図』 羽曳野市史編纂委員会／編 羽曳野市（1985） 『大阪春秋 第120号』新風書房（2005） 『HABIKINO 自然と歴史』羽曳野市自治振興課／編 羽曳野市自治振興課（1996） 『河内飛鳥をゆく』津田 さち子／著 そしえて（1984）に1975年撮影の空中写真があり、こちらをコピーされました。
中央	ペットボトルを使った風車の作り方	①『リサイクル工作であそぼう！手づくりおもちゃ200 2巻 まわす』 こどもくらぶ／編 ポプラ社（2014） ②『まるごとペットボトルリサイクル工作ランド』 すずお 泰樹／編著 いかだ社（2000） に記載があり、①を貸出しました。

館	相談内容	回答・提供資料他
中央	羽曳野市に伝わる昔話や民話・伝承に関する本	①赤馬伝説について 『河内（毎日グラフ別冊 古代史を歩く7）』毎日新聞社（1987） 『赤馬伝説』柏原市立歴史資料館（2011） 『読みがたり 大阪のむかし話』 日本標準（2005） ②白鳥伝説について 『羽曳野市史 第4巻 史料編2』羽曳野市史編纂委員会／編 羽曳野市（1981） 『ヤマトタケル伝説と日本古代国家』石渡 信一郎／著 三一書房（1998） 『ヤマトタケル 日本人なら知っておきたい英雄』 産経新聞取材班／著 潮書房光人新社（2019） 『ザ・古墳群 百舌鳥と古市 全89基』140B（2018） 『古市古墳群と羽曳野の歴史』 羽曳野市教育委員会世界遺産課（2024） ③その他羽曳野市と関わりのある伝承や羽曳野の民話の記載がある本 『河内名所図会』秋里 籬島／著 柳原出版（1990） 『歴史の散歩道（第5版）羽曳野市近辺の史跡と文化財』 羽曳野市教育委員会／編 羽曳野市教育委員会（1992） 『伝説と稗史2 上方編（北河内・中河内・南河内）』新和出版（1977） 『日本の伝説8 大阪の伝説』角川書店（1976） 『大阪の伝説』大阪府小学校国語科教育研究会／編 日本標準（1981） 『古代の謎を歩く』水町 星四／著 時事通信社（1997） 『絵巻物集 羽曳野市史文化財編別冊』羽曳野市（1991） 『日本昔話通観 第15巻 』 稲田 浩二／責任編集 同朋舎（1977）